

第43回 意見交換会のご案内

祇園新橋の夜を魅惑する

照明デザイナーを招いて、祇園新橋にふさわしい照明について考えます。

【日時】2018年6月12日(火)午後1時30分~3時

【場所】「登希代の2かい」(大和大路新橋通上ル東側)

【申込】申込は不要です。気楽にご参加ください。

祇園新橋を大切に思う皆さまのご参加お待ちしております！

報告 祇園新橋景観づくり協議会 総会

協議会が設立して初めての総会が、5月13日(日)に弥栄ふれあいサロンにて開かれました。会員67名のうち、出席者は51名(うち委任33名)でした。また、前原誠司衆議院議員をはじめ18名の招待者をご出席してくださいました。

昨年度の事業報告と決算、本年度の事業方針と予算が提案され、全員意義なく承認されました。昨年度より作成していた、祇園新橋景観づくり計画書についての提案も、全員意義なく承認されました。承認されました、今年度の事業方針は下記のとおりです。

平成30年度事業方針

1. 祇園新橋景観づくり計画書の認定申請
2. 祇園新橋景観づくり計画書に基づく事前協議の実施
3. 撮影マナー向上に向けた活動
4. 祇園新橋の風情を味わう空間の実現
5. 白川宵桜ライトアップ
6. 安心・安全対策の実施



質疑として、撮影マナーに関して、祇園新橋にそぐわない格好でのロケーション撮影については、協議会から注意して欲しいとの意見がありました。また、撮影マナー向上にかかる運営費について、事業者負担を提案しましたが、お金が動くことで権利関係が発生しないか不安との声もありました。本年度より始まる事前協議については、協議は必ず必要か、との意見がありました。

撮影マナーにつきまして、撮影業者とは、この3月より覚書を締結し、マナー向上を図っておりますが、さらなるマナー改善のため、質疑の意見や住民アンケート結果を踏まえ、定期的に協議を進めております。この秋のハイシーズンにむけて、新しい取り決めをまとめたいと考えております。

事前協議につきましては、外観を変更しない場合は協議不要ではありますが、いきなり足場が組まれて工事が始まる、ということがないようにすることが大切ですので、「これくらい要らないだろう」とは思わずに、まずは声をかけていただきたいと思います。(注：置き看板・のれん・外灯は協議が必要です。)

毎年6月の第1日曜日に行われている祇園放生会について、実行委員会代表でもある赤山禅院の高橋様をお招きしてお話を伺いました。

今年で34回目となる放生会ですが、最近は観光客も多く、地域の皆さんに迷惑が掛かっていないかと、心配されておりましたが、特にそのようなことはないとの意見が多くありました。

反対に、放生会に対する関心が薄い、との声があり、今後は、地域としても関心を高めていきたいと思えます。

末吉町の坂田さんから、「祝提灯行列」のご案内をいただきました。7月28日の祇園祭の神輿洗式の列で、様々な意匠を凝らした提灯を掲げて町中を練り歩きます。協議会として後援することで、祇園新橋が華やぎ続ける手助けになればと思います。



意見交換会
5月8日(火)「登希代の2かい」にて。参加者は15名でした。



祇園放生会
6月3日(日) 巽橋周辺にて。
参加者は数えきれないぐらいで、にぎわっていました(^^)。

【意見交換メモ】

■ 祇園放生会について

- ・ 毎年6月の第一日曜日に開催されています。
- ・ 祇園放生会は昭和60年に第一回が行われ、今年で34回目となります。
- ・ 放生会は元々、中国・陳代の高僧が旅の途中、漁師が捕えた魚を買い取り、その場で放してあげたことが由来です。
- ・ 東南アジアでは鳥、日本では魚など、放たれるものが異なるそうです。
- ・ 祇園放生会は、京都大学の学生が中心となった関西学生クリエートが発案して始まりました。
- ・ 地元と学生との交流を目的としていました。
- ・ 関西学生クリエートの主催は途絶えてしまったため、赤山禅院の職員が引き継ぎ、実行委員会として主催しています。
- ・ 比叡山延暦寺の千日回峰行の大回りとして行われますが、あまり宗教色を出さないようにしています。
- ・ 以前は鯉を放流していましたが、ヘルペスの危険性があると金魚に変えたりしました。今は稚鮎を約2000匹放流しています。
- ・ 他に、信者さん・関係者で、トランペットの演奏や尺八の演奏もあります。
- ・ 準備は、時間に追われ大変ですが、大森さんら有志の方がお手伝いしてくれます。
- ・ 赤山禅院は延暦寺の京都側の出張所の機能があります。紅葉も綺麗なので、ぜひお越しください。

■ 「祝提灯」のご案内

- ・ 末吉町の坂田さんから、祇園祭で練り歩く「祝提灯」についてご案内をいただきました。
- ・ 亀や小槌など、様々な形の提灯を掲げて、7月28日の祇園祭の神輿洗式の列で町中を練り歩く。
- ・ 文献によると江戸時代にあつたらしく、ぜひ復活させたい。
- ・ 祝提灯講社が主催する。
- ・ 坂田さん自身は宮本組の役員もやっていることから、当日の提灯の仕切りができないため、代表者を探している。
- ・ 祇園に縁があれば、誰でもOKの組織にしていきたい。
- ・ 提灯のデザインはそれぞれ思い思いでやってもらっているが、制作や保管は自己管理でお願いしている。
- ・ 提灯屋に制作を依頼すると、形にもよるが、3~4万円くらいである。
- ・ 担ぎ手は無償でボランティアがやってくれている。終わった後のお茶くらいは出してあげたい。
- ・ 地域で応援していただきたく、祇園町南側、祇園新橋、縄手繁栄会、婦人会、自治連等に後援のお願いをしている。